

登録No. S-068
 登録名 Eribulin療法
 催吐性リスク 軽度
 適応疾患 乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	デキサメタゾン 生食	6.6mg/body 50mL/body		d1・d8	d.i.v.	30min	
Rp.2	エリブリン 生食	1.4mg/m ² 50mL/body		d1・d8	d.i.v.	5min	5%ブドウ糖液禁 投与時間30分以内まで可
Rp.3	生食	50mL/body		d1・d8	d.i.v.	全開	フラッシュ用

1クールの間 21日間

その他（副作用・PS規定等）

アントラサイクリン系及びタキサン系抗悪性腫瘍剤を含む治療施行後の増悪
 若しくは再発に使用

注意: エリブリンにエタノール含有しているためアレルギーに注意

副作用: 好中球減少・白血球減少・脱毛・リンパ球減少・疲労・食欲減退・悪心・嘔吐・口内炎
 味覚異常・Hb減少・AST、ALT上昇・CPK上昇・ γ -GTP上昇・発熱・末梢神経障害・頭痛・
 発熱性好中球減少・下痢・LDH、Al-P上昇・血小板減少・倦怠感・発疹

延期・減量基準:	延期	1週目	2週目	減量
好中球		1000未満	1000未満	7日以上500未満、発熱性好中球減少（1000未満）
血小板		7.5万未満	7.5万未満	2.5万未満、輸血必要（5万未満）
AST/ALT		基準値×2.5以上	基準値×2.5以上	Grade3以上
T-Bil		基準値×1.5以上	基準値×1.5以上	2週目休薬したとき

減量方法: エリブリン
 1.4mg/m²→1.1mg/m²
 1.1mg/m²→0.7mg/m²
 0.7mg/m²→中止を考慮